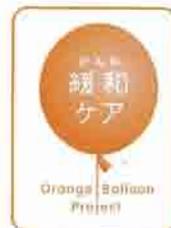


平成  
22年度



# JAグループ広島健康福祉大会 がんとともに生きる社会



- 日時 平成23年**1月28日** **金** 10:30~15:00
- 会場 **広島国際会議場「ダリア」**
- 主催 **JAグループ広島**
- 後援 **広島県生活協同組合連合会**  
**(社)広島県シルバーサービス振興会**

本大会は、「オレンジバルーンプロジェクト」参加行事です。



オレンジバルーンの暖かいオレンジ色には、  
すべての苦痛症状をほんわりとやわらげたいという思いが、  
バルーンに描いた顔には、  
緩和ケアにより、バルーンに描かれたような表情に  
患者さんと一緒になりたいという思いが込められています。

## がんの痛みをやわらげ、自分らしく生きるための「緩和ケア」

がんは、2人に1人がかかると言われます。つまり、日本人が一生のうちがんにかかる確率は50%です。がんにかかってしまったら、身体の痛みや治療に伴う苦痛と闘わなければなりません。

悲しみ、絶望感など、心の苦痛も伴います。

でも、痛みや辛さをやわらげることができれば、がんと向き合う勇気が出てきます。

今回の大会では、「緩和ケア」と「地域で活動されるがん患者団体や

ホスピスマインドにあふれた町づくりをめざして活動される方々の想い」を学びます。

がんを抱えながら生活する方々やご家族の身体的・精神的・経済的な苦痛をやわらげ、

心とくらしが調和して生きていける社会の実現のためのヒントを、いっしょに探しましょう。

### 講師からひとこと

#### 「緩和ケアってなあに」

生涯でがんにかかる人は、男性・女性ともに2人に1人という結果が報告されています。

私たちにとって、身近な健康問題です。がんになった時、どんなことを感じるでしょうか。おそらく痛みやだるさ、気持ちの落ち込み、経済的なこと、家族の心配などさまざまなつらさや心配事があると思います。

緩和ケアは患者さんだけでなく、患者さんをサポートするご家族の方々もケアの対象としています。

また、緩和ケアは、今まで言われてきたような「終末期のケア」ではありません。

今日はそのような緩和ケアについて考えてみましょう。



#### 講師プロフィール

JA広島総合病院 緩和ケア認定看護師 岡田 恵美子 氏

1984年、広島県立三次看護専門学校卒業後、JA広島総合病院勤務。

内科病棟、訪問看護ステーション、放射線腫瘍科(治療科)外来を経て、現在は呼吸器・消化器内科病棟に勤務。2009年、緩和ケア認定看護師に。現在は看護科主任として病棟勤務。病院内の緩和ケアチーム活動にも参加している。



あなたの指にも  
胸のお医者さんが  
います。

#### 「乳がん早期発見コーナー」

～乳がん自己触診を体験しよう！～

乳がんの早期発見には、マンモグラフィなどの定期検診はもちろんですが、『自己検診』も大切です。

自己検診モデルを使って、JA病院の保健師が自己検診のコツをお教えします。開会前やお昼の休憩時間に、会場の後方ブースにお越しください。

## スケジュール

10:30 ——— 開会  
JA綱領唱和  
開会あいさつ  
来賓あいさつ

緩和ケアセミナー  
「緩和ケアってなあに」  
JA広島総合病院 緩和ケア認定看護師 **岡田 恵美子 氏**

12:30 ———  
昼食・休憩  
DVD放映 「まさか私が乳がんに!?!」 「がん体験者の語り」

13:30 ———  
地域セミナー  
「地域で支えあう“いのち” ～みんなで豊かに生きるために～」  
○パネリスト  
広島ホスピスケアをすすめる会 竹原支部代表 **大石 睦子 氏**  
乳腺疾患患者の会「のぞみの会 広島」代表 **桜井 征子 氏**  
JA広島総合病院 緩和ケア認定看護師 **岡田 恵美子 氏**  
○コーディネーター  
地域看護専門看護師 **馬庭 恭子 氏**

### 大会申し合わせ

15:00 ——— 閉会

パネリスト

コーディネーター



広島ホスピスケアをすすめる会  
竹原支部代表 **大石 睦子 氏**

#### ●プロフィール

1991年、乳房温存療法にて手術。1996年、重度身体障害者更生授産施設を退職後、「広島・ホスピスケアをすすめる会」で電話相談などのボランティアを始める。2003年、竹原支部を立ち上げ、ホスピスマインド伝道のため、講座・講演会などを開きながら、在宅で終末期を過ごすことを希望される患者さんと家族のお手伝いを始める。2007年、竹原町にがん患者さん・家族の集う癒しのサロン「つむぎの路」を立ち上げ、毎週木曜日に活動している。2008年第17回「ひろしまナイチンゲール賞」受賞。



乳腺疾患患者の会「のぞみの会 広島」  
代表 **桜井 征子 氏**

#### ●プロフィール

1997年～99年、JA広島総合病院勤務。1990年左乳房全摘手術を受ける。1993年、乳腺疾患患者の会「のぞみの会 広島」設立と同時に、「のぞみの会 広島」代表となる。同じ病気で悩んでいるもの同士、お互いに悩みを打ち明け、共に励ましあって病気を克服することを目的に患者交流会・勉強会・講演会などの活動を展開中。2004年より民生委員の委嘱を受け現在に至る。2007年、四季が丘高齢者支援事業「陽だまりポポロ」のサロンを開設。サロン・健康体操など、支援者とともに取り組んでいる。



地域看護専門看護師  
**馬庭 恭子 氏**

#### ●プロフィール

1986年～94年、JA広島総合病院勤務。95年～96年聖路加看護大学大学院。1996年～2002年広島YMCA訪問看護ステーション・ピース所長。2002年卵巣がんの治療を終える。2003年から広島市議会議員に選出され、現在に至る。広島県がん対策推進協議会委員(患者代表)、日本尊厳死協会中国地方支部理事、ウーマンズ・キャンサー・サポート(婦人科がん患者会)代表。今まで培ってきた看護の視点・患者の立場を地域づくりや政策に入れ込みながら、住みよい街を作るべく活動中。



だれもが「いきいきと住みなれた地域で安心して  
くらする」ための地域協同活動を

緩和ケアセミナー「緩和ケアってなあに」

講師：JA広島総合病院緩和ケア認定看護師 岡田恵美子さん



地域セミナー パネルディスカッション「地域でささえあう “いのち”」  
～みんなで豊かに生きるために～



パネラー

広島ホスピスケアをすすめる会 竹原支部 代表 大石睦子さん  
乳腺疾患患者の会「のぞみの会」広島 会長 桜井征子さん  
JA 広島総合病院 緩和ケア認定看護師 岡田恵美子さん

コーディネーター

地域看護専門看護師 馬庭恭子さん